

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 調査報告概要表

作成日 2008年5月8日

## 【評価実施概要】

|       |  |
|-------|--|
| 事業所番号 | 0170202915                             |
| 法人名   | 有限会社 ウエルコ                              |
| 事業所名  | グループホーム かがやき                           |
| 所在地   | 札幌市北区篠路2条7丁目5番22号<br>(電話) 011-774-5517 |

|       |              |
|-------|--------------|
| 評価機関名 | (有) NAVIRE   |
| 所在地   | 北見市本町5丁目2-38 |
| 訪問調査日 | 平成20年4月30日   |

## 【情報提供票より】(20年3月26日事業所記入)

## (1) 組織概要

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 3 月 31 日                  |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人                |
| 職員数   | 16 人 常勤 15 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7.2 人 |

## (2) 建物概要

|      |                 |
|------|-----------------|
| 建物構造 | 鉄骨造り            |
|      | 3階建ての 2階 ~ 3階部分 |

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |                   |       |
|---------------------|------------|----------------|-------------------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 39,000 円   | その他の経費(月額)     | 水道光熱費 20,000円     |       |
| 敷金                  | 無          | 介護用ベット3,000円   | 暖房費(11~3月)10,000円 |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 無          | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無               |       |
| 食材料費                | 朝食         | 400 円          | 昼食                | 400 円 |
|                     | 夕食         | 400 円          | おやつ               | 100 円 |
|                     | または1日当たり 円 |                |                   |       |

## (4) 利用者の概要(3月15日 現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性   | 4 名  | 女性 | 14 名 |
| 要介護1  | 4 名       | 要介護2 | 6 名  |    |      |
| 要介護3  | 5 名       | 要介護4 | 2 名  |    |      |
| 要介護5  | 1 名       | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 81.6 歳 | 最低   | 61 歳 | 最高 | 96 歳 |

## (5) 協力医療機関

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 協力医療機関名 | 倉田内科医院・宮の沢ファミリークリニック・旭ヶ丘クリニック |
|---------|-------------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設3年目の当ホームは、1階がコンビニエンスストアで2階と3階がグループホームとなっています。ホーム内は居間から利用者の様子や居室が見渡せるようになっており、木材を取り入れて穏やかで落ち着いた雰囲気となっています。職員は、利用者の求めや考えを考慮しながら、能力を引き出せるよう支援しています。昼食時には、ホットプレートを使用して材料の下準備から盛り付まで一連の流れの中で、利用者が関われる様に工夫されて、会話を増やし、支え合う関係を大切にしています。近隣には他のグループホームがあり、協力と向上心を意識して職員のスキルアップに心掛けています。アットホームな雰囲気の中で、穏やかで安心した暮らしが出来るように日々努めています。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|       | 前回の評価において、介護計画の見直しでは、各ユニットに介護支援専門員有資格者を配置して、計画作成担当者がケアマネジメントに集中出来る環境をつくり、より深く追求出来る体制を整えました。鍵をかけないケアでは、利用者の外出傾向を把握し、鍵をかけない時間を長くする取り組みがされています。                                     |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|       | 評価の意義や目的を会議にて説明し、自己評価を職員全員で記入し、管理者と話し合いが行われ作成されています。改善点もスタッフ全員で話し合いが行われ運営推進会議において報告され、意見をもらい質の向上に努めています。   |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)   |
|       | H19年3月・8月、H20年3月に開催し、地域との関わり、利用者家族の要望、助言、自己評価、外部評価についての説明、徘徊時の捜索の協力等の内容にて双方向的な会議となっています。ホームからの外出機会は多いが、ホームに立ち寄ってもらう工夫や呼びかけ等と、2ヶ月に1回の開催が今後の課題となっています。                             |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|       | 2.3ヶ月に1回のホーム便り、毎月の状況報告と写真を送付しています。家族会はありませんが、運営推進会議に家族が参加し、意見・不安等が聞きだされ、家族の来訪時に情報収集・状況報告が行われ、家族に馴染みの職員からの声掛けにより、意見等を吸い上げ運営へ反映させています。今後は、アンケート方式による家族への意見、苦情等の聞き取りを実施する予定となっています。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
|       | 町内会に加入し、回覧版等で情報収集を行い、地域のイベント事、コミュニティセンターの行事の参加や散歩、買い物の際の挨拶等で交流を図っています。ホーム行事への招待、地域の方の来訪と気軽に立ち寄れる機会をつくる事が今後の課題となっています。  |

(有)NAVIRE

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                    |
|-----------------------|----|---|--|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |  |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |  |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域との繋がりを重視し馴染みある暮らしの継続を理念の中に取り入れ、会議等で確認し合い支援しています。   |      |  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 玄関やユニット毎に理念を掲示して、会議や新規採用時に説明しています。職員個々に理念の捉え方に差はありますが、日々の利用者との生活の中で理念の実践に向けて取り組んでいくよう意識付けがされています。ホーム便りに理念を掲載して家族への理解や地域への浸透に取り組もうとしています。                   |      |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |  |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 町内会に加入して、回覧板の際の挨拶、地域のお祭り等の参加、保育園の運動会・お遊戯会の見学と積極的に参加されています。今後は地域への奉仕活動の関わりを多く持つ取り組みを模索しています。  |      |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |  |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 会議の中で自己評価の意義を話し合い、職員全員で記入し、話し合いが行われています。前回の外部評価での改善点も話し合わせ、改善へむけての取り組みが行われています。  |      |  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 前回の調査日から2回の運営推進会議が開催され、急な都合で欠席となった方もいますが、利用者や家族、知見を有する者、地域包括支援センターの職員、地域住民の代表の方々が出席して地域との関わり、利用者家族の要望、助言、自己評価、外部評価についての説明、徘徊時の捜索の協力依頼等の内容にて双方向的な会議となっています。 | ○    | 今後は2ヶ月に1回の会議開催を望みます。又、ホームに気軽に立ち寄ってもらう工夫や呼びかけを運営推進会議で啓発して推進・向上を期待します。 |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 北区の管理者連絡会での意見交換、介護保険事業指導係への提出書類等の確認、相談をする事でサービスの質の向上に取り組んでいます。   |      |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |  |      |                                   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 毎月、状況報告と写真を送付しています。2ヶ月から3ヶ月に1回のホーム便りでは、写真を多く取り入れて利用者の一人ひとりの様子や、職員紹介、認知症コラム、お知らせ等が明記されています。家族の来訪時には情報収集、状況報告が行われています。             |      |                                   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族には気軽に意見・要望等が話せるように、馴染みの職員からの声掛けにて、意見等を吸い上げ運営へ反映させています。又、便りにて相談、苦情の担当窓口を明記して対応しています。今後は、アンケート方式による家族への意見苦情等の聞き取りを実施する予定となっています。 |      |                                   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職の際には、馴染みの管理者・職員にてスムーズに引き継ぎが行われるように配慮しています。家族には、便りにて職員の顔写真を載せて伝えています。  |      |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |  |      |                                   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 管理者は職員個々の性格や適正を把握し、より良い介護の為に研修会等への出席や勉強会を実施しています。外部研修を受講した職員は、研修報告書を作成して全職員が閲覧できるようになっています。人員の確保、個人差による捉え方に考慮し検討しています。           |      |                                   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 管理者・職員は、市、区の連絡会に参加しています。近隣のグループホームとの研修会開催や情報交換等を行い、一人ひとりの職員の学習意欲と質の向上に努めています。  |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用前に利用者、家族と面談を行い、これまでの経緯や困っていること、不安な事等を傾聴し、利用者本人のペースで馴染む事が出来るように配慮しています。すぐに利用になった場合は、面談で馴染みになった職員が傍についたり、家族と一緒に過ごしてもらったりしながら支援をしています。 |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 職員と一緒に食事の下準備や栽培した大根での漬物作り、煎餅作り、毎月飾るちぎり絵の作成等、本人の意志や知恵を確認して支えあう関係を築いています。   |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 家族、利用者から生活歴や環境、家族状況等の情報を把握して、心身状況と照らし合わせて生活パターンを大切に考え、申し送り、会議で話し合われ検討し共有されています。   |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 家族や本人の意向を聴きながら、日々のケース記録、申し送りノートの活用、個別の介護記録により、職員同士、情報を共有してユニット会議でアイデアや意見、気づきを話し合い、介護計画を作成しています。                                       |      |                                   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 状況に変化があった場合は職員間で話し合い、家族・本人へ状況を説明しプランの検討見直しをしています。4月より各ユニットに介護支援専門員有資格者を配置して、計画作成担当者がケアマネジメントに集中出来る環境をつくり、より深く追求出来る体制を整えています。          |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |  |      |                                   |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人や家族の希望に応じて、通院、送迎、外出等、必要な支援は柔軟に対応しています。理、美容は月に1度の割合で訪問があります。  |      |                                   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |  |      |                                   |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 週に1回の協力医療機関の担当看護師による健康管理、本人、家族が希望するかかりつけ医の受診支援や協力医による2週間毎の往診が行われています。医師、看護師と相談しながら健康管理を行い、精神科や心療内科は継続受診が出来るように支援しています。 |      |                                   |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者の重度化に関する指針を明示し、終末期の要望書等にて話し合っています。現段階では、該当が無く、1件のご家族に看取り介護の同意は頂いております。重度化や終末期の状況の説明を踏まえた話し合いを今後、検討しています。            |      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |  |      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |  |      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |  |      |                                   |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 職員は利用者の意思や自尊心に配慮しながらケアを行っています。個人情報、スタッフコーナーに保管され、誘導等の声かけは、さり気ない対応に心掛けています。   |      |                                   |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 朝寝坊やソファでくつろいだり、食事の後に居室にて独りになったり、一人ひとりのペースに合わせて生活習慣や健康状態に配慮しながら、希望に添えるように支援しています。                                       |      |                                   |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                           |
|--------------------------------------|----|---|--|------|---|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |  |      |   |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員と一緒に食事の下準備や配膳、たこ焼き作り、カラオケに行った際の食事会等、できること・できそうなことを見極めながら、食事全体が楽しくなるように取り組んでいます。時には、飲酒したい方と職員が外食に出かけたりもしています。                 |      |   |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 週に2回の入浴日ですが、一人ひとりの習慣や健康状態に合わせて、利用者の入りたい時間帯を聞く等して、スムーズに入浴できるよう支援しています。  |      |   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |  |      |   |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者ができることや、役割り、趣味を活かせるように、支援しています。新聞とりや、外食先の相談、少額を持つての買い物、クリーニング依頼の際に料金の受け渡し等、一人ひとりに合わせて支援をしています。                              |      |   |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 天候・体調を考慮しながら、一人ひとりの希望に添って、散歩や1階のコンビニエンスストアへ買い物、玄関先の草花の水やり等支援をしています。又、家族と相談しながらお墓参り、季節に合わせた外出レクリエーションを計画して外出する機会を多くつくり支援をしています。 |      |   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |  |      |   |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中、玄関は開放しています。3階のユニット入口は外出傾向の方がおりますが、利用者の外出傾向を把握し、鍵をかけない時間を長くする取り組みがされています。  |      |   |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 避難訓練・消防訓練は、年に2回実施しています。スタッフコーナには応急手当マニュアル・防災マニュアルが置かれ、連絡網が掲示されて、緊急時の対応が出来るようになってきました。運営推進会議で災害時の協力を呼びかけています。                   | ○    | 夜間時や出火場所を想定してでの火災訓練、全職員の救急救命の受講等、不測の事態に備えて、更に対応出来るように期待します。 |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 管理者は栄養士の資格を有しており、職員は利用者の好み等を把握しています。1週間の献立を基本として、希望に添うように刻み食、お粥等、状況に応じた支援をしています。食事や水分摂取量が少ない方は、おやつ・果物等で補給出来るよう対応しています。                  |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |   |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 商店街の一角に立地されてはいますが、外の音は気にならず、居間には毎月、利用者と一緒に作った季節毎の飾りを展示し、廊下には行事や外出時の写真があり、日々の暮らしの様子を伝えています。居室・居間には湿温計を置き、廊下に洗濯物を干し、湿度調整に配慮して、生活感を出しています。 |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 居室の備品は、使い慣れた家具や生活用品・写真を持ち込み、家庭の延長的な雰囲気の中で過ごせる様になっています。  |      |                                   |